

有事に備える

さくら団地自治会は、役員会や町内会行事で利用することの多い『桜木婦人研修の家』で、消防訓練を行いました。

調理室から出火し、延焼している状況を想定した訓練には23人が参加。119番通報や消火器を使用した初期消火、屋外への避難誘導などを確認し合い、日頃から利用する施設の安全安心を高めました。

さくら団地自治会

会長 田渕 純勝



温泉で深める地域のきずな

市は、町内会が市内の温泉ホテルや旅館を利用して行う事業に対して、経費の一部を助成しており、令和元年度は44町内会が制度を活用しました。

登別市が全国に誇る良質な温泉で体を癒やしたり、おいしい食事やカラオケ、ゲームを楽しみながら、会員同士の親睦を深めており、町内会活動の活性化につながっています。

市連合町内会事業部会

部会長 雨洗 康江



障がいのある人もない人も

市連合町内会は、市が取り組む『あいサポート運動』に賛同し、市内4カ所であいサポート1ター研修会を開催しました。同研修会には、合計で約110人が参加。車いすを使用している方や視力に障がいのある方から、日常生活におけるちょっとした配慮や手助けの方法などを学び、誰もが暮らしやすい地域社会に向けて、理解を深めました。

市連合町内会事業部会

部会長 雨洗 康江



地域で守る新一年生の笑顔

市連合町内会生活安全部会は、市内小学校の入学式の翌日から1週間、各町内会の協力のもと、『新入学児童を交通事故から守る運動』を行いました。車の往来が多い場所に立った各会員は、ピカピカのランドセルを背負った一年生に「おはよう」、「車に気をつけて」などと声を掛けるとともに、行き交う車に安全運転を呼びかけました。

市連合町内会生活安全部会

部会長 田渕 純勝

